

## ■めぐりあい有明<sup>うみ</sup>■

コミケット30年強の歴史と同じだけ積み重ねられてきたのが、参加者の待ち合わせ失敗の歴史だ。例えば友人と一緒に来場しても、時には一人で存分に自分の嗜好を満たしたい時もある。そんな訳でそれぞれ別れて夢中になって買い回り、ハタと気付けば待ち合わせ時間オーバー。携帯は通じない、相手は見つからない。そんな経験をしないための対策をしておこう。

特に最近では若年者が保護者と一緒に来場し、それぞれ会場を回っている間に保護者の方が予備知識のない会場の中で迷ってしまう新しいケースも発生しているので、自分の同行者が誰であれ、事前にしっかりと待ち合わせや会えなかった場合の行動を決め、できるだけ紙に書いたものをお互いに持っておくようにしよう。

家族でも友人でも、会場に来る以上は立派な参加者。連れてくるアナタの責任において、コミケットのルールは必ず理解してもらうことと、環境に対する備えはきちんとさせることを怠らなく。

### ●待ち合わせ失敗防止法

- ・携帯の予備バッテリーは絶対に忘れずに。
- ・携帯を持っていない相手の場合は事前にテレホンカードを2枚持たせ、その表面に自分の携帯電話番号と連絡時間を油性ペンで書いておく。
- ・カタログ付属の会場MAPに待ち合せの場所、時間、緊急連絡先なども書込み、お互いに所持する（可能ならコピーを取り、買い回りに使うMAPとは別にして紛失を防ぐ）。
- ・保護者などに待機してもらおう場合はまず実際に集合場所に行き、現地確認をしてから別れること。事前に会場への出入りのルールを理解してもらい、時間をつぶす方法を用意しておいてもらう（興味がありそうなジャンルを紹介してあげるのも良いかも）。買出し要員としてコキ使うのは後々のことを考えてほどほどに！
- ・同行であれ在宅であれ、保護者には参加上の注意事項を事前に読んでおいてもらい、その他に『会場内では呼び出しはできない』『会場内は混雑が酷いので、移動に予想外に時間を食われる可能性がある』『携帯が通じない可能性がある』ことは理解願おう。
- ・当然、自分自身が早めに待ち合わせ場所に向かうように心がける。移動時間、トイレの待ち時間、行列時間なども全て計算に入れ、最初から無理な待ち合わせ予定を立てないことも大切だ。



### ●一緒に居るのは、誰…？

最近、『相手のことを何も知らないまま、連れてきてもらう格好で一緒に来て、会場内で別れた方がいいが、再会できなくなる』という例が散見される。

携帯電話からでも簡単にネットに接続できる現在、ネット上の各種サービス上のハンドルネーム類と、それに付随するメールやメッセージ用のアカウントだけで普通に連絡が取れ、相手の個人情報も全く知らなくても交友関係が成立してしまう。しかし、普段はそれで困らなくても、会場内では人は多いし電話もネットも双方が繋がるとは限らない。いざそれ以外の連絡先を、という段になって、実は相手の名前も住所も知らなかったという事態に陥ると、手も足も出なくなってしまうのだ。

自分たちだけは大丈夫と思わずに同行者と正確な情報を交換したり、複数系統の連絡方法を確立しておくのも必須だが、サークル入構証や帰路の切符、お金等はどんなに親しい友人や家族であっても決して他人任せにせず、会場に向かう以前からきちんと自分自身で管理すること!! 自分の面倒を自分で見られることは、参加者の必要最低条件である。

## うみ ■めぐりあい有明■

コミケット30年強の歴史と同じだけ積み重ねられてきたのが、参加者の待ち合わせ失敗の歴史だ。例えば友人と一緒に来場しても、時には一人で存分に自分の嗜好を満たしたい時もある。そんな訳でそれぞれ別れて夢中になって買い回り、ハタと気付けば待ち合わせ時間オーバー。携帯は通じない、相手は見つからない。そんな経験をしないための対策をしておこう。

特に最近では若年者が保護者と一緒に来場し、それぞれ会場を回っている間に保護者の方が予備知識のない会場の中で迷ってしまう新しいケースも発生しているので、自分の同行者が誰であれ、事前にしっかりと待ち合わせや会えなかった場合の行動を決め、できるだけ紙に書いたものをお互いを持っておくようにしましょう。

家族でも友人でも、会場に来る以上は立派な参加者。連れてくるアナタの責任において、コミケットのルールは必ず理解してもらうことと、環境に対する備えはきちんとさせることを怠りなく。

### ●待ち合わせ失敗防止法

- ・携帯の予備バッテリーは絶対に忘れずに。
- ・携帯を持っていない相手の場合は事前にテレホンカードを2枚持たせ、その表面に自分の携帯電話番号と連絡時間を油性ペンで書いておく。
- ・カタログ付属の会場MAPに待ち合せの場所、時間、緊急連絡先なども書込み、お互いに所持する（可能ならコピーを取り、買い回りに使うMAPとは別にして紛失を防ぐ）。
- ・保護者などに待機していてもらう場合はまず実際に集合場所に行き、現地確認をしてから別れること。事前に会場への出入りのルールを理解してもらい、時間をつぶす方法を用意しておいてもらう（興味がありそうなジャンルを紹介してあげるのも良いかも）。買出し要員としてコキ使うのは後々のことを考えてほどほどに！
- ・同行であれば在宅であれば、保護者には参加上の注意事項を事前に読んでおいてもらい、その他に『会場内では呼び出しはできない』『会場内は混雑が酷いので、移動に予想外に時間を食われる可能性がある』『携帯が通じない可能性がある』ことは理解願おう。
- ・当然、自分自身が早めに待ち合わせ場所に向かうように心がける。移動時間、トイレの待ち時間、行列時間なども全て計算に入れ、最初から無理な待ち合わせ予定を立てないことも大切だ。



### ●一緒に居るのは、誰…？

最近、『相手のことを何も知らないまま、連れてきてもらう格好で一緒に来て、会場内で別れた方がいいが、再会できなくなる』という例が散見される。

携帯電話からでも簡単にネットに接続できる現在、ネット上の各種サービス上のハンドルネーム類と、それに付随するメールやメッセージ用のアカウントだけで普通に連絡が取れ、相手の個人情報は全く知らなくても交友関係が成立してしまう。しかし、普段はそれで困らなくても、会場内では人は多いし電話もネットも双方が繋がるとは限らない。いざそれ以外の連絡先を、という段になって、実は相手の名前も住所も知らなかったという事態に陥ると、手も足も出なくなってしまうのだ。

自分たちだけは大丈夫と思わずに同行者と正確な情報を交換したり、複数系統の連絡方法を確立しておくのも必須だが、サークル入構証や帰路の切符、お金等はどんなに親しい友人や家族であっても決して他人任せにせず、会場に向かう以前からきちんと自分自身で管理すること!! 自分の面倒を自分で見られることは、参加者の必要最低条件である。

## ■めぐりあい有明■

コミケット30年強の歴史と同じだけ積み重ねられてきたのが、参加者の待ち合わせ失敗の歴史だ。例えば友人と一緒に来場しても、時には一人で存分に自分の嗜好を満たしたい時もある。そんな訳でそれぞれ別れて夢中になって買い回り、ハタと気付けば待ち合わせ時間オーバー。携帯は通じない、相手は見つからない。

そんな経験をしないための対策をしておこう。

特に最近では若年者が保護者と一緒に来場し、それぞれ会場を回っている間に保護者の方が予備知識のない会場の中で迷ってしまう新しいケースも発生しているので、自分の同行者が誰であれ、事前にしっかりと待ち合わせや会えなかった場合の行動を決め、できるだけ紙に書いたものをお互いに持っておくようにしよう。

家族でも友人でも、会場に来る以上は立派な参加者。連れてくるアナタの責任において、コミケットのルールは必ず理解してもらうことと、環境に対する備えはきちんとさせることを怠らなく。

### ●待ち合わせ失敗防止法

- ・携帯の予備バッテリーは絶対に忘れずに。
- ・携帯を持っていない相手の場合は事前にテレホンカードを2枚持たせ、その表面に自分の携帯電話番号と連絡時間を油性ペンで書いておく。
- ・カタログ付属の会場MAPに待ち合せの場所、時間、緊急連絡先なども書込み、お互いに所持する（可能ならコピーを取り、買い回りに使うMAPとは別にして紛失を防ぐ）。
- ・保護者などに待機してもらおう場合はまず実際に集合場所に行き、現地確認をしてから別れること。事前に会場への出入りのルールを理解してもらい、時間をつぶす方法を用意しておいてもらう（興味がありそうなジャンルを紹介してあげるのも良いかも）。買出し要員としてコキ使うのは後々のことを考えてほどほどに！
- ・同行であれ在宅であれ、保護者には参加上の注意事項を事前に読んでおいてもらい、その他に『会場内では呼び出しはできない』『会場内は混雑が酷いので、移動に予想外に時間を食われる可能性がある』『携帯が通じない可能性がある』ことは理解願おう。
- ・当然、自分自身が早めに待ち合わせ場所に向かうように心がける。移動時間、トイレの待ち時間、行列時間なども全て計算に入れ、最初から無理な待ち合わせ予定を立てないことも大切だ。



### ●一緒に居るのは、誰…？

最近、『相手のことを何も知らないまま、連れてきてもらう格好で一緒に来て、会場内で別れた方がいいが、再会できなくなる』という例が散見される。

携帯電話からでも簡単にネットに接続できる現在、ネット上の各種サービス上のハンドルネーム類と、それに付随するメールやメッセージ用のアカウントだけで普通に連絡が取れ、相手の個人情報も全く知らなくても交友関係が成立してしまう。しかし、普段はそれで困らなくても、会場内では人は多いし電話もネットも双方が繋がるとは限らない。いざそれ以外の連絡先を、という段になって、実は相手の名前も住所も知らなかったという事態に陥ると、手も足も出なくなってしまうのだ。

自分たちだけは大丈夫と思わずに同行者と正確な情報を交換したり、複数系統の連絡方法を確立しておくのも必須だが、サークル入構証や帰路の切符、お金等はどんなに親しい友人や家族であっても決して他人任せにせず、会場に向かう以前からきちんと自分自身で管理すること!! 自分の面倒を自分で見られることは、参加者の必要最低条件である。